

しおんだより VOL.54



今年度から新しく狭間洋至副院長が着任しました

春は入学式のシーズンであり、当院も、看護部、リハビリテーション科などに多くのスタッフをお迎えすることができました。新しいメンバーも加わったことで、さらに、パワーアップした病院を作って参りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

左から、竹内麦穂副院長、私、狭間洋至副院長となります。それぞれの専門性を活かしながら病院運営に取り組んで参ります。

医師も、長年、当院で内科診療を担当して下さっていた尾山治先生が、地元石川の病院で副院長を務められることになり、3月末で退職となりました。

その代わりというわけではないのですが、3月31日まで、大阪けいさつ病院で糖尿病診療にあたっていた狭間洋至先生が、4月1日付けで副院長が着任いたしました。私と同じ大阪大学医学部を平成10年に卒業し、当時の第一内科に入局。大阪急性期総合医療センター、大阪労災病院、大阪けいさつ病院で一貫して糖尿病治療に当たってきました。

竹内麦穂先生が外科系副院長、狭間洋至先生が内科系副院長となり、私とともにトロイカ体制でよりよい病院作りに取り組んで参ります。なお、名前からおわかりになるかも知れませんが、私の2歳違いの弟です。同じ病院で働くのは初めてですが、がんばります。

衆議院厚生労働委員会に出席しました

まだ、新年度が始まってのんびりしていた4月4日に、ひょんな事から4月8日の衆議院厚生労働委員会でお話することになり、にわかに慌ただしくなりました。

ご案内の方もいらっしゃるかも知れませんが、今年は、医薬品医療機器等法（通称 薬機法）の改正年であり、衆議院議員の皆さんが専門家を呼んで意見を聞くというもので、私を含めて5名の参考人が招致されていました。

当日の様子は、衆議院のインターネット中継のサイトでご覧いただくことができます（右のQRコードから見られます）ので、よろしければ一度ご覧下さい。



4月8日の午前9時から11時40分まで、ぶっ続けの会議で色々と自分の意見を述べさせて頂きました。

国会議事堂を間近で見ることができましたし、会議室は国会中継などでなんとなく見覚えのある部屋で、なんだか、大人の社会見学のような感じでした。

見上げる桜も良いけれど…

今年は、お花見のシーズンは過ぎ去り、桜も葉桜がきれいな時期になってきましたが、先日、自宅近くをランニングしていると、とあるおうちの庭先に、今年も、芝桜がきれいに咲いていました。

1年のうちほとんどは土の色かモノトーンの葉の色しかないので、おうちの方が熱心に手入れされているのでしょうか、10日ほどは、きれいで可憐な花が咲きます。

ソメイヨシノや八重桜は、目線より上に咲きますが、芝桜は足下に咲きますので、ついつい見逃しそうになります。特に、このお花も、ゆっくり走っていたからこそ見えるもので、車に乗っていたら目に入らなかったと思います。

毎日慌ただしい中ではありますが、上ばかり見ず、足下もしっかり目を配りながら、ちょっとした変化や進歩を見つけて喜ぶ余裕を持って、生きなきゃだめだな。そんなことを思いながら、芝桜を写真に収めました。（文責：狭間研至）



ソメイヨシノや八重桜のように見上げる桜もきれいですが、芝桜にも違った風情があります。

しおんだより 第54号 発行日：令和7年4月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

〒557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp